

第2回 北部地区学校再編検討委員会 議事録

日 時	令和5年12月7日(木)
場 所	北部多目的センター 多目的ホール
参加者	27名 委員 11名（学識経験者1名、保護者代表4名、地域代表3名、校長3名） 事務局 4名（教育次長、学校教育課長、学校教育課職員2名） 傍聴者 12名

会議内容

第2回検討委員会に先立ち、委員と事務局にて岡崎中学校、湖西中学校の視察を実施した。事務局より、業務支援を行う業者の紹介と支援内容の説明を行った。その後、事務局より本日の議事内容の説明があり、事務局への質問や委員同士の意見交換を行った。

1 「学校再編検討委員会の目的と検討事項、今後の進め方」について

- ・学校再編検討委員会の目的は、急激な少子化の進行を考慮し、北部地区の子どもたちにとって、よりよい教育環境を充実させていくという視点から、学校再編方針に沿って具体的な案について検討していくことである。
- ・令和3年度の学校教育施設適正化検討委員会では、湖西市における望ましい教育環境について示すとともに、これからの東小学校、知波田小学校、湖西中学校について、「東小学校、知波田小学校、湖西中学校が統合し小中一体型の学校になることが望ましい。」と報告書に取りまとめた。令和4年度には、これからの小中学校についての意見交換会を実施。令和5年3月には、湖西市総合教育会議、意見交換会、子育て世代を対象にしたアンケートを実施。令和5年5月には、北部地区のこれからの教育環境として「小学校は湖西中学校を候補地として統合する。中学校については、小中一体型にするのか、岡崎中学校に通うのかについては、さらに検討する。」と、湖西市立小中学校再編方針に取りまとめた。
- ・学校再編検討委員会の検討事項は、①小中一体型の施設や教育、②小学校のみ統合した場合の施設や教育、③スクールバスの運行（コース、停留所、自転車通学とバス通学の範囲など）、④実施時期の4点。
- ・学校再編検討委員会は計6回で令和6年12月までに基本計画を策定する予定。第3回は施設整備の検討、通学方法の検討、小学校からの交流や事業スケジュールについての検討、そしてアンケート案について話し合う予定。第4回はアンケート結果の検討、基本計画案の検討、事業スケジュールについて話し合う予定。

【委員より】

協議事項の前に4点発言させて欲しい。1つは、少子化、特に白須賀校区、東小校区、知波田小校区に人口が増えないというのが最大の原因だと思う。これは当

該地区のほとんどが市街化調整区域であるため、現市長は『職住近接』を提言しているが、実情は当該校区にはなかなか家が建てられない状況にあること。2つ目に、ほぼ60年前に構造改善事業で整備した農地の指定が解除できていないために、宅地化できないこと。3つ目に、今回の再編に向けて保護者やその下の年代には周知をして、アンケートは取っているが、直近3年から10年間で卒業した方には説明したのかということ。4つ目に、村境を巡って紛争の絶えなかった新所村と入出村の学校を東小学校に統合した際に、統合当初は非常に保護者間の軋轢があったということ。今回の再編で東小学校と知波田小学校が統合した場合にスムーズに行くのかどうかは、非常に大きな問題だと思っている。

【委員長より】

統合というのは決して簡単にスムーズには動かないと思う。今まで地域の方が支えていた学校なので、必ず利害関係はぶつかる。それを1つにするためには、保護者や、地域、学校の意思をできるだけ共有化させる場というのが重要で、当検討会がそのような場になるとしている。

＜質問①＞先ほどの説明を聞いて、小学校は東小学校と知波田小学校を併せて中学校を小中一体にするのか、それとも中学校を先ほど見てきた岡崎中学校に行くかという方向で話を進めるような印象だが、小学校も中学校も岡崎に行く選択肢を持ちながら、なぜ小学校を一体にさせるのか。中学校を岡崎もしくは鷺津に行かせながら、なぜ小学校だけを湖西で1つにさせる形で話が進んでいるのかという意見がPTA役員会の方々からも出ている。将来の児童生徒数を見ると、恐らく東小学校区や知波田小学校区を合わせても、小学校で1学級30人を切るようになり、2学級制が成立しなくなると思う。それなのになぜ小学校だけ統合して、中学校を岡崎に行くという案があるのかということをお伺いしたい。

＜回答①＞小学校を湖西中学校に統合する場合、知波田小学校と東小学校は近くに立地しており、比較的歩いて通える子どもも多いこと、小学校は地域の中で豊かな体験をしながら小規模の良さを生かした学校ができればと考えていること、スクールバスを使うとしても小学校からあまり遠くへ通学するのは大変だということから、小学校は湖西中学校の場所へ統合するということが基本線としている。

【委員より】

東小学校の地元は入出と新所、知波田小学校は利木や横山などが地元になるので、東小学校と知波田小学校を湖西中学校の場所に統合した場合、地元ではなくなるのではないかと。

【委員より】

過去に新所小学校と入出小学校が統合して東小学校となる前後を比べてみると、統合前の方が、みんな子どもたちの顔を知っているという状態で地域のつなが

りは非常に強く、統合後は、地域のつながりが非常に弱くなった気がする。

<質問②>令和 3 年度の学校教育施設適正化検討委員会で、東小学校と知波田小学校は統合したほうがいいという方針が出されているが、その際に地域とのつながりについての議論はあったのか。

<回答②>移転後も地域とのつながり方がスムーズにいくのかという点は課題として挙げられており、子どもたちの豊かな学びを実現していくために地域の方たちと話し合うプロセスは必要だという意見は出ていた。

【委員より】

出入地区のしらゆりこども園には、新居、鷺津、新所など違う地域から集まっており、湖西市では「しらゆりこども園に行きたい」という方が多い。そうしたなかで小学校だから地域で見守るという縛りを設けることはどうなのか。また、スクールバスについても、日本は安全なので通学は歩いていくという固定観念を持っているが、海外の映画などでは、小学校にスクールバスで行くのは当たり前で、教育上問題があるとは思えない。

学校再編については、湖西中学校区で、市外の中学校に進学する子どもが増えている状況となっているため、小中学校を郷土で学んでいくことができる教育環境をつくるためにも早く進める必要がある。

2 アンケートの実施、基本計画策定に向けての意見交換について

- ・具体的な対象者は検討中だが、小学校の保護者の方、幼稚園の保護者の方に対して、学校再編に関するアンケートを実施する予定。第 3 回委員会でアンケート案を検討し、6 月ごろにアンケート実施予定。
- ・アンケートでは、例えば「湖西中学校に小中一体型の整備をする場合、こんな校舎配置図になって、通学方法はこのような方法を考えています」といったように、選択肢を見える化して、ご意見を頂きたいと考えている。

<質問④>アンケートの時期はいつごろで考えているのか。

<回答④>次回 5 月の検討委員会でアンケート案の検討をしていただき、その後 6 月ごろにアンケートを実施したいと考えている。

<質問⑤>小中一体型か、小学校のみの統合か、どうしてもとなれば湖西市全体の通学区域の再編成を考えるのか、というように大きな話になる可能性もあるが、それも含めて 5 月までに決める想定なのか。

<回答⑤>今回のアンケートでは、小中一体の場合はこんな校舎配置図で、こんなふうになる、岡崎中学校に行くとなると小学校だけになるけれど、このような校舎配置図ができるように考える、というように情報を見える化し、情報提供した上で、アンケートを実施する予定。

【委員より】

今回のアンケートが、こういうイメージですが、どうですかという意見を聞くことが目的になると理解した。再編の選択肢に、委員の意見にあった他の選択肢もあることを示すのか、整理しないとアンケートができないかなと思う。できれば地域の方の意見も聞いて、うまく調整できればと思う。特に、将来の子どもの数の減少については、十分に理解をしていただいた上でアンケートに回答していただけるようにする必要がある。

＜質問⑥＞アンケートの原案について現時点で何か考えているのか。

＜回答⑥＞今回の委員会で、小学校の再編について新たなご意見を頂いたので、次回までにいくつかの案を検討する。

【委員より】

現在、神座地区の子どもは、行政区は知波田だが、岡崎小学校に通っている。行政区にあわせて湖西中学校の場所へ統合する小学校へ通うようにすれば、児童数は増えるのではないか。

＜質問⑦＞一事不再議の原則で、正式に諮ってきたことであれば、今回再編方針が転換することはなかなかできないのかなと思うが、これまでの検討のなかで市全体の校区、通学区について検討されてきたのかどうかについて説明して頂きたい。

＜回答⑦＞まず令和3年の適正化検討委員会で、湖西市の学区の特性として、行政区と通学校区が概ね一緒に、地域の中で子どもたちを育てるという枠組みができており、その枠組みを変えるのは望ましくないのではないかという議論があった。令和4年の議論でも様々な意見をいただき、令和5年5月の学校再編方針の中でも、学区と行政区で大きく変えるのは子どもたちにプラスにならないという考えがあって今の再編方針が出されている。

以上